

2024 年度

大同大学教育開発・学習支援センター活動年報

- Section. I センター長総括
- Section. II 2024 年度 FD ワークショップ
「学修ポートフォリオシステム導入 1 年の振り返りと
他大学での活用事例の紹介」
- Section. III 2024 年度研究授業・授業研究会開催実績
- Section. IV 2025 年度研究授業・授業研究会開催予定
- Section. V 2024 年度学習支援実績



『2024 年度の大同大学 FD 活動の学外公開』

教育開発・学習支援センター長 田中 宏昌

2024 年度の「大同大学教育開発・学習支援センター活動年報」を発行する。3 年目となるこの年報は、本学が取り組み続けている FD 活動を学外に発信することを目的としている。その内容は、学内限定公開の所報誌「授業批評」と住み分けられている。「授業批評」には、主に研究授業・授業研究会における忌憚のない意見を含む議論（時として個人名も記載される）がまとめられている。センター活動年報には、本学におけるその他の FD 活動－FD 講演会やシンポジウムに関する情報や、研究授業・授業研究会の開催実績、センターが実施している個別学習支援の総括－についてまとめられている。これらは、本学 FD 活動の PR および学内外の連携を期待して学外公開するものである。また、昨年度に引き続き、本学ウェブサイト上における教育開発・学習支援センター関連のリンクを整理した。

本号では、2024 年度 FD ワークショップ、2024 年度研究授業・授業研究会開催実績、2025 年度研究授業・授業研究会開催予定、2024 年度学習支援実績を掲載した。今年度の FD ワークショップは、本年度より稼働開始した学修ポートフォリオシステム（通称：DU ポートフォリオ）について、導入初年度の振り返りを行った。学内からの報告とともに、他大学よりお招きした講演者より、具体的な活用例についてもご紹介いただいた。研究授業・授業研究会については、開始から 25 年の節目を迎えたことを機に総括を行い、2025 年度以降の開催について実施内容や開催回数などを調整した。研究授業は学外の教育関係者も参観可能なので、興味をお持ちの方は教育開発・学習支援センター(cti@daido-it.ac.jp)までご連絡をお願いします。今後も、センター年報を通じて学外の皆様にも有用な情報を発信していく所存です。

Section. II 2024 年度 FD ワークショップ

【開催要項】

開催日時：	2025 年 2 月 25 日（火） 14:00～15:30
会場：	遠隔（Zoom を利用）
テーマ：	『学修ポートフォリオシステム導入 1 年の振り返りと他大学での活用事例の紹介』
講師：	棚橋秀行／教学マネジメント WG 主査 浦瀬太郎氏／東京工科大学教授（教務部長）
概要：	大同大学が求める教員像が制定され、教員研修の一環として、全教員が利用することになる学修ポートフォリオシステム（2024 年度導入）の振り返りと他大学での活用事例について説明する。

【参加者数】

当日参加者数（手元集計）	教員 68 名 事務職員 18 名 その他 5 名
アンケート回答	98 名（うち 22 名が“後日視聴”）

【学長まとめ】

学修ポートフォリオシステムの可能性と展望

大同大学 学長 渡邊慎一

2025 年 2 月 25 日に開催された教育開発・学習支援センター主催の FD ワークショップ『学修ポートフォリオシステム導入 1 年の振り返りと他大学での活用事例の紹介』を参観しました。このワークショップは、2024 年度に本格運用を開始した「DU ポートフォリオ」の導入初年度を振り返り、今後の活用の方向性を模索する貴重な機会となりました。

ワークショップでは、まず教学マネジメント WG 主査である棚橋副学長より、本システム導入の背景、学生の学びの可視化方法、これまでの運用状況について説明されました。「DU ポートフォリオ」は、学生が「学業（成績）」「キャリア形成（資格・語学試験・課外活動など）」「学外での活動（ボランティア・アルバイトなど）」の 3 つの観点から期首に目標を設定し、期末にその取組みを自己評価し、それに対して教員がコメントや助言を行う仕組みです。

今回のワークショップでは、東京工科大学で教務部長を務められている浦瀬太郎教授をお招きして、学修ポートフォリオシステムを導入して 3 年目を迎える同大学での具体的な運用事例を共有していただきました。

浦瀬教授からは、学修ポートフォリオシステムが学生とのコミュニケーション・ツールとして役立っていること、学年平均が示されることで自己の相対的な成績が把握できること、様々な分析により退学率の抑制に活用できる可能性があることなどが語られ、非常に説得力がありました。

中でも印象的だったのは、ポートフォリオ上での学生と教員とのやり取りについての言及でした。システム上、半期に一度は必ず学生と教員がポートフォリオ上で対話を行うことが求められますが、学年進行とともに1人の教員が対応する学生数は増え、完成年度には40～50名とやり取りしなければならなくなるという現実が紹介されました。教育効果を維持しながら、教員の入力の手間や時間的負担を低減することが重要であるという指摘には、大いに共感しました。これは、実際にシステムを活用した教員でなければ気付きにくい視点であり、浦瀬教授の「無理をしない運用」という言葉が強く印象に残っています。

今後、「DUポートフォリオ」を運用しながら、システムや運用について様々な改善が必要になると思います。しかし、DUポートフォリオを活用して学生一人ひとりの成長を教職員が丁寧に支援していく体制は、まさに「DAIDO VISION 2030」で求めている3つの力、すなわち「自ら課題を見つけて解決する力」「他者と協働するコミュニケーション力」「新たな価値を生み出す創造力」の獲得には必要であると考えています。学生は自らが立てた目標に向かって努力し、達成すれば喜びや充実感を得ます。一方で、失敗したり挫折したりして苦しい状況を経験するかもしれません。しかし、それらすべてが学生にとっては貴重な経験であり、このような学びこそが学生の人間的成長に繋がると考えています。教員の皆さんには、そうした学生の挑戦を温かく見守り、ときに励まし、寄り添う「伴走者」としての役割を果たしていただきたいと願っております。

また、「DUポートフォリオ」には、目標管理だけではなく、GPAやディプロマ・ポリシー（DP）の達成状況もレーダーチャートで視覚的に分かりやすく提示されます。そして、GPS-Aの結果も掲載されますので、これらをキャリア教育にも活用することが可能です。さらには、このシステムにより集積されたデータを用いてIRを行うことで、教学全体の質保証にも資すると考えています。

「DUポートフォリオ」の本格運用は始まったばかりであり、まだまだ改善の余地はあると考えています。しかしながら、今回のFDワークショップのように情報と課題を共有し、意見交換し、試行錯誤しながらシステムや運用を改善していくことこそが、「教育の質保証」の取り組みであると考えています。今後とも、教職員一丸となって、本学の教育をより良いものへと高めてまいりましょう。

Section.Ⅲ 2024 年度研究授業・授業研究会開催実績

大同大学は、教育重視型大学としての使命を果たすために、全教員の授業の公開を原則とし、持続的に授業の改善と充実に努めることを定めた「大同大学授業憲章 2001」を制定しています。より良い授業を目指し本学教員相互による授業研究活動を行っており、大同大学における教員の教育資質開発と授業改善の方策を新たな段階に導いています。そのために、非常勤講師も含む個々の授業について検討する研究授業・授業研究会、および、複数授業間の連携を図る教育プログラム検討会を開催しています。

2024 年度の開催実績を以下に表示します。

【研究授業／授業研究会】

回次	実施日時	授業担当者	所属	科目名	研究授業 参観者数 (名)	授業研究会 参加者数 (名)
第 329 回	5/13 (月)	武藤 隆 (教授)	建築専攻／ インテリアデザ イン専攻	インテリア計画 2	12	10
第 330 回	5/30 (木)	中村 裕哲 (准教授)	総合情報学科	経営学概論	9	11
第 331 回	6/7 (金)	柘植 寛 (教授)	情報システム 学科	パターン情報処理	7	9
第 332 回	6/17 (月)	小酒井 良延 (非常勤講師)	物理学教室	力学	9	8
第 333 回	6/26 (水)	畠永 慎一 (教授)	情報デザイン 学科	情報デザイン基礎 実習 A2	9	9
第 334 回	7/11 (木)	日高 直保 (講師)	人文社会教室	心理学 A	7	9
第 335 回	10/8 (火)	神崎 隆男 (教授)	機械工学科	流体力学基礎	7	11
第 336 回	10/25 (金)	田中 淑晴 (教授)	機械システム 工学科	電気・電子工学 1	8	8
第 337 回	11/1 (金)	井口 昭彦 (非常勤講師)	電気電子工学科	電気電子数学 2	8	10
第 338 回	11/4 (月)	森長 誠 (講師)	建築専攻／ インテリアデザ イン専攻	環境工学 2	7	8
第 339 回	11/25 (月)	朝倉 宏一 (教授)	情報システム 学科	ネットワークプロ グラミング	12	10
第 340 回	12/3 (火)	宮寄 靖大 (准教授)	都市空間 インフラ専攻	構造設計学 B	9	11
第 341 回	12/12 (木)	湯田 高志 (教授)	情報デザイン 学科	メディアクリエイ ティブ論 C	8	9

【教育プログラム検討会】

回次	実施日時	学科	研究・検討内容	参加者数 (名)
第 27 回	5/23 (木)	機械システム 工学科	2024 年度より、24 カリがスタートする。機械システム工学科では、3 年次生に開講している機械工学実験において、担当教員が定年退職によって数名入れ替わっており、機器の老朽化も起きている。そのため、24 カリの該当学年が履修するまでの 2 年間に、学科の実験担当委員を中心に実験内容や使用機器の入れ替えや見直しを検討する必要がある。	15

Section.IV 2025 年度研究授業・授業研究会開催予定

大同大学では、FD 活動のさらなる飛躍を期し、学外の皆様の幅広いご意見をいただくこととしています。2025 年度は、以下の日程で開催します。

【研究授業／授業研究会】は、学外の教育関係者もご参観いただくことが可能です。参観を希望される方は、下記よりお申し込みください。

《申し込み・問い合わせ先》

大同大学教育開発・学習支援センター

電話： 052-612-6118

E-mail： cti@daido-it.ac.jp

【研究授業／授業研究会】

回次	実施日時	授業担当者	所属	科目名
第 342 回	4/15 (火)	吹田 和嗣 (教授)	機械システム工学科	ロボット工学
第 343 回	5/7 (水)	小島 崇 (教授)	電気電子工学科	電気回路 2
第 344 回	5/8 (木)	川澄 誠 (教授)	教職教室	教職論
第 345 回	6/13 (金)	山崎 一徳 (准教授)	情報システム学科	コンピュータセンシング
第 346 回	6/27 (金)	長谷川 翔一 (講師)	数学教室	解析学 1
第 347 回	10/13 (月)	内海 能亜 (教授)	機械システム工学科	加工学 2
第 348 回	11/5 (水)	松井 かおり (教授)	外国語教室	英語スキル 2
第 349 回	11/17 (月)	近藤 恵美 (教授)	かおりデザイン専攻	生活環境学 2
第 350 回	11/24 (月)	蔦森 秀夫 (教授)	機械工学科	変形加工学

【教育プログラム検討会】

回次	実施日時	学科	研究・検討内容
第 28 回	1/23 (金) 16 : 30~	化学教室	化学教室では、工学部および建築学部の特設基礎科目群の科目を担当している。これらの科目では、2024 年度からのカリキュラム変更および授業完全 15 週化に伴い、授業運営および授業内容について、いくつかの変更を行った。今回の教育プログラム検討会では、授業運営と授業内容を変更した影響について 2024 年度・2025 年度の実績を基に検討し、2026 年度以降の授業運営に反映することを目指す。 特に、化学教室は複数学科に共通する同一科目を、複数クラスかつ複数教員で担当していることから、クラス間および教員間の授業運営・授業内容の連携について、座学系科目（化学 1・化学 2）と実験系科目（基礎工学実験）とに分け、検討する。

Section. V 2024 年度学習支援実績

大同大学では、学生を自立した学習者に育てることを学習指導の方針とし、基礎学力不足の学生に対して、大学での授業内容の前提となる高校までの学習範囲を学習指導し、本学の教育課程に規定する授業科目の学習が達成できるよう学習支援を行っています。

注 1) 前期・後期は支援科目ごとに時間割を定め、週 1 回継続的に受講する。

注 2) 各科目とも 2～4 名程度でクラスを設定

【支援期間】

前期	後期	夏期
4/22(月) ～ 7/19(金)	10/14 (月) ～1/20 (月)	第 1 クール (9/10-13) 第 2 クール (9/17-20)

【開講科目数／受講延人数】

科目	前期		後期		夏期	
	開講科目数	受講延人数	開講科目数	受講延人数	開講科目数	受講延人数
数学	4	171	4	78	4	49
理科	3	212	3	82	3	40
英語	4	305	5	51	2	19
合計	—	688	—	211	—	108

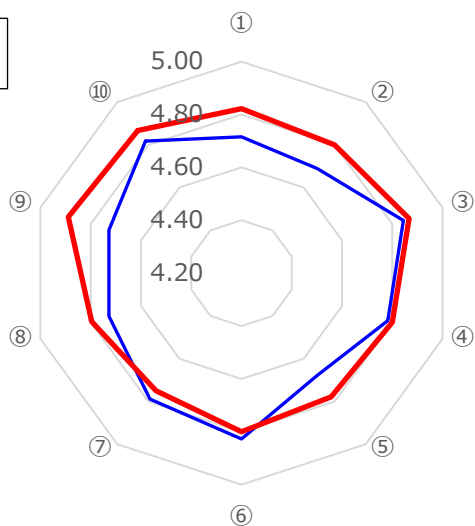
【受講実人数】

学科専攻	前期	後期	夏期
機械工学科	53	19	5
機械システム工学科	59	23	12
電気電子工学科	59	25	6
建築専攻／インテリアデザイン専攻	54	13	2
土木・環境専攻／都市空間インフラ専攻	35	5	7
かおりデザイン専攻	11	9	1
情報システム学科	63	23	11
情報デザイン学科	43	6	2
総合情報学科	26	4	0
4 年生	0	0	0
3 年生	5	2	0
2 年生	56	27	7
1 年生	342	98	39
合計	403	127	46

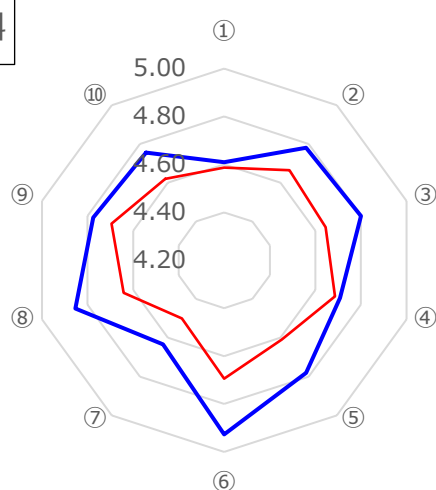
【授業評価アンケート】

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
数学	前期	4.72	4.69	4.84	4.78	4.68	4.83	4.79	4.73	4.73	4.82
	後期	4.82	4.80	4.87	4.80	4.78	4.80	4.75	4.80	4.89	4.87
理科	前期	4.59	4.66	4.64	4.69	4.61	4.69	4.50	4.64	4.69	4.62
	後期	4.61	4.78	4.80	4.71	4.78	4.93	4.63	4.85	4.78	4.76
英語	前期	4.66	4.79	4.88	4.82	4.73	4.85	4.68	4.77	4.77	4.50
	後期	4.70	4.83	4.83	4.73	4.73	4.90	4.67	4.78	4.78	4.36

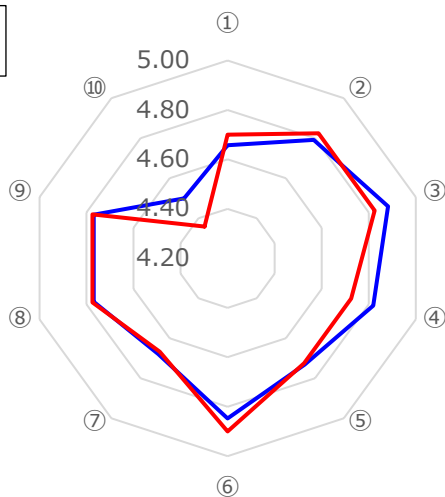
数学



理科



英語



※軸 4.2-5.0 で表示

＜質問項目／5 点満点＞

- ①授業内容のレベルは、満足できるものでしたか。
- ②この授業に対する担当教員の熱意が感じられましたか。
- ③担当教員の声の大きさや話し方は適切でしたか。
- ④担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。
- ⑤担当教員は、授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。

- ⑥担当教員は、学生の質問や意見を述べられるような配慮やミニケーションをしていましたか。
- ⑦使用した教材（テキスト・配布資料など）の量・難易度は、適切でしたか。
- ⑧板書は、量・内容ともに適切でしたか。
- ⑨授業は、全体として満足できるものでしたか。
- ⑩授業は、正規の授業の理解に役立ちましたか。

以上